

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第2回 相模原市道路冠水時安全対策検討会	
事務局 (担当課)	路政課 電話042-769-8359 (直通)	
開催日時	平成28年11月1日(火) 14時00分～17時00分	
開催場所	相模原市立環境情報センター 2階 学習室	
出席者	検討委員	2人(別紙のとおり)
	有識者	2人(別紙のとおり)
	その他	事務局5人(路政課長、他4人) その他19人
会議次第	<p>1 議事</p> <p>(1) 現状の道路冠水時注意箇所における区域の拡大について</p> <p>(2) 道路冠水時注意箇所の拡大について</p> <p>(3) それぞれの道路冠水時注意箇所に対する安全対策について</p>	

検 討 会 経 過

主な内容は次のとおり。

1 議 事

(○は委員の発言、●は事務局の発言)

(1) 現状の道路冠水時注意箇所における区域の拡大について

●工学的に想定外の豪雨を踏まえ、想定のできる最大の冠水範囲や冠水深さを把握する。そのため、現地の地形や道路勾配から集水するエリアや流れ出さず溜まる範囲及び深さを想定し、道路冠水時注意箇所（以下「注意箇所」という。）の区域を設定した。

○設定した区域については、シミュレーションの現実性や妥当性を検証した上で、地域住民の方へどのように伝えるか検討する必要がある。

○道路冠水の可能性が低くても、物理的に道路冠水の可能性が有る箇所を抽出し最大を想定することは、重要なことと考える。

○注意箇所の範囲を拡大すると、どこから溜まりはじめたのかが不明確になるため、溜まりはじめる箇所を把握しておく必要がある。

(2) 道路冠水時注意箇所の拡大について

○道路冠水の履歴が有る箇所を注意箇所として抽出したということが良いか。

●履歴が無い箇所を含めると注意箇所が膨大となるため、履歴が有る箇所で抽出した。

○学術的に注意箇所を抽出するのは困難であり、履歴によって注意箇所を抽出することは妥当だと考える。

○注意箇所の選定にあたっては、①「水が溜まるくぼんだ地形」②「水が集まり一定方向に流れる傾斜のある地形」③「流れる水の範囲が狭くなり、水流が深く速くなる地形」④「排水施設からの溢水」の4つの要因が考えられる。それぞれの注意箇所について、この要因を踏まえた分析を行う必要がある。

(3) それぞれの道路冠水時注意箇所に対する安全対策について

●災害要因を整理し、各項目ごとに対策方法の洗い出しを行い、①「道路冠水の発生を抑制する」②「道路冠水箇所への道路利用者の侵入を防止する」③「道路冠水箇所での事故防止」の3種類に分けての対策案を抽出し、課題についてまとめた。

- 対策案を抽出しているが、今後は具体的に行う内容を検討する必要がある。特に降雨という自然現象を扱うこと、複雑な現象や都市構造を踏まえて全てを予測することは不可能であるので、防止対策には、市民に対する降雨時の心構えや自己による予防などを含める必要がある。
- パトロールを行う人員に限りがある中で、道路冠水時注意箇所が増加に対応できるのか、確認しておく必要がある。タクシー会社と協力し、情報提供を受けている事例もある。
- 災害の危険がある要因を情報提供することで、市民との協働で自衛を含めた防災対策を目指す必要がある。
- 次回の検討会では、どのような箇所が危険なのか要因分析を踏まえて、市民へ注意喚起をする内容や情報提供の方法について議論する必要がある。

相模原市道路冠水時安全対策検討会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	匂末 敏男	相模原市都市建設局道路部長		出席
2	河西 龍二	相模原市都市建設局下水道部長		出席
3	那須 清吾	高知県公立大学法人 高知工科大学学長特別補佐	座 長	出席
4	瀬戸下 伸介	国土交通省国土技術政策総合研究所 道路交通研究部道路研究室長		出席
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				